

平成29年度事業報告

○ 公益社団法人下松市シルバー人材センター

1 概況

我が国の経済は、経済対策に伴う公共投資の増加等により、緩やかではあるが回復基調を続けていると言われていますが、実感として捉えにくい経済環境にあります。

他方、将来的に労働力の大幅な減少が懸念される少子高齢化の進展に、歯止めをかけ、地域の活力を維持していくために「一億総活躍社会」の実現に向けた動きが活発になっています。中でも、地域の活力を維持していく活動をしているシルバー人材センター（以下「シルバー」という。）の役割は、地域社会の高齢者の受け皿として、また高齢化社会を支える中核的な組織として一層重要となっています。

しかし、シルバーを取り巻く環境は、民間事業所での適正就業の推進、雇用の延長等により、従業員が定年後も企業に残るケースが増えたこと等の要因もあって、新規入会会員が伸び悩むなど、厳しい状況にあります。

このような状況の中、当シルバーにおいても、地域社会の信頼や期待に応えながら、事業の推進を図るべく、新規会員の獲得や、就業先の確保・拡大に努めてまいりました。

以下、平成29年度事業実施概要について報告します。

(1) 会員の動向

会員の状況は、年度末会員数498人（男性314人、女性184人）となり、前年度の532人（男性会員338人、女性会員194人）と比べ34人の減となりました。

(2) 事業実績

受託事業の事業実績は、受注件数2,185件で、前年度の2,639件に対して、454件の減、契約金額は約2億2,392万円で、前年度の約2億3,530万円から約1,138万円の減となりました。

また、労働者派遣事業については、受注件数37件で、前年度の47件に対して、10件の減、事業実績は17事業所へ46人の会員を派遣し、契約金額約2,750万円で、前年度の約3,272万円に比べ約522万円の減となりました。

受託事業及び労働者派遣事業の合計が約2億5,142万円で、前年度の約2億6,802万円から約1,660万円の減となりました。

なお、収支決算については、経常収益計が約2億7,006万円、経常費用計が約2億6,730万円で、約276万円の収益増となりました。

就業率については、91.6%となり、前年度の90.4%から1.2ポイントの増となりました。

(3) 組織体制の充実強化

「第二次中期基本計画」に掲げる課題の実現と計画の推進に向けて、総務・広報・

就業開拓・安全の各委員会を開催し、組織の活性化に取り組みました。

また、会報「星のさと」「事務局だより」「安全だより」等を配布し、会員への情報伝達と連帯意識の高揚に努めました。

未就業の会員を対象とした「共同作業」を実施し、未就業会員が一人でも多く就業するきっかけとなるように取り組みました。

独自事業として、引き続き、正月飾り製作班の輪飾り・門松づくり、ハーブの会の軽食・スイーツづくり、布倶楽部の布製品づくり、木工品製作班の木工品づくりを実施しました。

(4) 就業開拓

就業開拓推進員により、官公庁、民間企業を訪問し、シルバー事業のPRを行うとともに、就業情報を収集しました。また、市内の一般家庭を対象にシルバー事業の紹介チラシを配布し、就業機会の創出に努めました。

(5) 普及啓発活動

市の広報やマスメディアを活用し、シルバー事業の普及啓発及び就業機会の拡大を図りました。普及啓発促進月間中の10月21日(土)には、市内の一部地域を対象に、役員が一体となって啓発用チラシの各戸配布を行いました。

また、11月2日(木)に「第9回グラウンド・ゴルフ大会」、11月4日(土)には「第9回いきいきシルバーまつり」を開催し、一般市民とのふれあいの場を設ける事によって会員全体の意思疎通及び市民へのシルバー事業への普及啓発に努めました。

(6) 安全・適正就業の確保

7月8日(土)に、“スターピアくだまつ”において、「安全・適正就業推進大会」を開催、平成30年1月27日(土)には、“ほしらんどくだまつ”において、「会員研修会」を開催し、安全への周知徹底と意識の高揚を図りました。

また、「事故ゼロ」を目標に掲げて、安全就業に取り組みましたが、ガラスの踏み抜き事故が1件発生しました。会員・役職員が一体となり、今後も尚一層事故の防止に努める必要があります。

適正就業については、請負・委任に適合しないとみなされる受注に対し、事業所の個別訪問を実施し、労働者派遣事業への移行をお願いするなど、基準に沿った運営の推進に努めました。

(7) 福利厚生

会員相互の親睦交流を図るため、「日帰り親睦旅行」を11月11日(土)に実施、平成30年1月27日(土)には研修会と併せて会員親睦会を開催して、会員相互の交流を深めました。

また、会員の健康づくりのヒントとしていただくために、小冊子「シルバー世代の健康管理」を配布しました。

○ 下松市勤労者総合福祉センター

1 概 況

(1) 施設の利用促進

センターの有効かつ公平な利用を図るため、市をはじめ各関係団体及び一般市民の協力を得ながら利用者の増加に努めました。

(2) 施設の維持管理

築後29年以上経過して、施設・設備の老朽化が進んでいますが、良好な維持管理を継続していくため、日常点検及び各専門業者による点検委託を実施するとともに、老朽箇所の修繕・補修を行いました。

(3) 施設の利用状況

①体力づくり

体力増進、健康保持のため、スポーツ教室の開催及び卓球、バドミントンなどスポーツの場としての利用を図りました。

②教養文化

書道、オカリナ、大正琴等各種講座を開催しました。

(4) 就業支援

ハローワークの求職情報を掲示するとともに、技能講習会場としての活用に努めました。